

認知症に関する活動計画（概要）

栃木県作業療法士会では、『地域リハビリテーション推進部・認知症ケア対策推進部門』として、「研修事業」を中心に活動している。活動の主な目的は、認知症ケアに携わる人材の育成であり、認知症アップデート研修、応用研修の2種類を開催予定。

研修の企画・運営が日本作業療法士協会主導から各都道府県士会に移行されたこともあり、研修会のスタイルや講義内容は栃木県作業療法士会のオリジナリティ溢れる内容にしたい。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会と連携していた作業療法士が当士会を退会した事で、現在、認知症の人と家族の会との連携を再構築している。

研修事業（士会独自の取り組みなど）

アップデート研修以外に、令和二年に行政や認知症の人と家族の会の会長に講師を依頼して応用研修を開催していたが、COVID-19の影響にて、現在はオンラインでのアップデート研修の開催に留まっている。

県内にて、認知症カフェや認知症初期集中支援チーム等に関わっている作業療法士の情報収集に関して、地域包括ケア推進部門との連携を検討している。

RUN伴

2022.9.10（土）『RUN伴栃木 2022』を開催予定。

「認知症になっても住みやすい街作り」をテーマに、認知症の人や家族、支援者、一般の人が参加し共（伴）にゴールを目指す。

これまでに、各市町で行う普及啓発活動として、ラジオ放送を利用したり、市の図書館に認知症関連の特別ブースを設置して頂くなどしている。また、市町共通のテーマとして、「あなたと伴にピースサイン」を掲げ、賛同者と撮影した写真をInstagramやFacebookで掲載する予定。【アカウント】Instagram (runtomotochigi) Facebook (Run伴栃木)

イベント当日は、フィナーレイベントとしてオレンジ色のRUN伴Tシャツを着用し、公共交通機関を利用してJR宇都宮駅西口まちかど広場から県庁前広場まで練り歩く予定。

COVID-19の影響・対応など

対面研修が困難になり、一昨年は研修会が開催出来なかったが、昨年度よりオンライン研修の体制が整い、アップデート研修を再開。会議は全てオンラインにて実施している。

